

その後、いかにお過ごしですか？ プロジェクト



## 矢作川水系森林ボランティア協議会



対応してくれた人の名前：西川早人共同代表、丹羽健司前代表  
 調査員：齋藤大祐、蜂須賀功  
 レポート作成者：齋藤大祐  
 取材日：2016年11月16日  
 取材場所：豊田市職員会館

## 活動内容（「山村再生担い手づくり事例集」より）

矢作川水系森林ボランティア協議会（以下、「矢森協」という）は、現在14の森林ボランティアグループから構成されており、約250人が所属している。主に、森の健康診断と協働間伐モデル林事業の2つの事業を行っている。

## ○森の健康診断

2005年から毎年6月第1土曜日に開催している。流域の人工林の現状を市民の五感と科学で明らかにしようと、これまで豊田市、根羽村、恵那市、平谷村、設楽町、岡崎市などで9回行われ、延べ約2,000名の参加者があり、調査も2巡目に入っている。森林ボランティアをリーダーに地元サポーター、自然観察サポーター、一般参加者を合わせて1班8人程度で編成し、植生調査と混み具合調査を合わせて50数項目の調査をマニュアルに従って調査する。現地では、調査後、林分の診断と処方全員で討議し、全体では秋に報告会を開催し、研究者によって集計分析された結果を参加者で共有している。2014年度で10回目を迎え、森の健康診断は終了する。

## ○協働間伐モデル林事業

豊田市山間部の幹線道路沿いの森林をモデルとして、山主と矢森協で林分調査を行い、森林インストラクターによる講習の後、山主と一緒に間伐を行う事業。年間8ha行っている。山主たちは、森林ボランティア（矢森協）から楽しさを、森林インストラクターから確かな技術を学び、山主たちの山仕事に対する意識が変わりつつある。

## 前回の取材後、どのような変化がありましたか？

## ○協議会の状況

- ・2015年3月に体制が変わった。現在は4名の共同代表で協議会を運営している。（西川氏はその一人。）
- ・協議会は15ある森林ボランティアグループのレベルアップや親睦を深めるいわゆる「協議会」の機能をそのまま引き継いだ。
- ・一方、森の健康診断を全国に向けて発信して普及する機能は、「森の健康診断出前隊」を創設し別組織として立ち上がった。
- ・協議会のメンバーは、微増している。年齢層的にはいわゆるリタイア組が多くなっている。協議会では、同じ時期に体験をしたメンバーでグループを作るようになっており、そういったグループも増えてきている。
- ・「山の人のつながり」が広がってきたのはとても嬉しく思っている。最近はトヨタ自動車関連の人も興味を持つようになってきた。

## ○森の健康診断

- ・「矢作川森の健康診断」は、矢作川森の健康診断実行委員会の一員として参画し当初の計画通り、10回で終了した。
- ・成果としては、矢作川流域の森林の健康状態がどのようなものか分かり、そして多くの方々と交流することもできた。
- ・森の健康診断事業は「森の健康診断出前隊」が展開し、それと協働している。最近は小学校向けのプロジェクトに注力し急速に広がっているようだ。
- ・豊田市域では地元主催の「旭森の健康診断」が始まり、協議会としても応援している。

前回の取材時の課題は解決に向かっていますか？現在の課題は何ですか？

#### ○組織の運営と肥大化

- ・協議会のメンバーも増えてきたことにより、組織の運営及び維持管理が年々難しくなっている。
- ・またメンバーの世代交代の時期になっている。自分は最初からいるいわゆる「第一世代」であるが、メンバーの増加により「第二世代」の人も増えてきた。大切なことをいかに伝えていくか、考えている。

#### ○安全対策

- ・もともとボランティア団体なので自己責任的な所もあるのだが、森林内での活動は事故等の発生は不可避である。特に間伐等の森林整備では、万が一のことが起きる可能性もある。そういったことが起きたら団体としては解散せざるを得ないということもある。安全対策について、活動者への教育を含めてしっかり取り組んでいきたい。

山村再生担い手づくり事例集の活用に関するアイデアがありましたら教えてください

- ・林業もそうであるが、森林のことを知らない人が多いので、まずはこういった状況にあるのか知ることが大切と考える。
- ・協議会のメンバーは、個性豊かで、ボランティア精神も強いところもあるので手弁当的な活動でもある程度は活動している。願わくば、そういった人々をサポートするようなものがあればとも考える。
- ・メンバーの世代交代と関連して、森林のことをいかに伝えていく点で、森林所有者と森林に興味ある人をいかにくっつけるかというのも一つのカギではないかと考える。

写真



間伐材搬出の様子



協議会のメンバーと



小学生と間伐体験



下層植生の調査